

環境に係る情報協議会 国営かんがい排水事業 中後志地区

1. 環境に対する考え方

(「京極町、倶知安町及び共和町田園環境整備マスタープラン」から)

《農村環境の現状と課題》

【 現 状 】

○京極町は、町の8割以上が山林であることから、自然に恵まれている。

○倶知安町は、豊かな緑に名水、清浄な大気、公害がないなど大変恵まれた環境。

○共和町は、ほ場条件の整備などの基盤整備事業や近代的な農業技術の導入により果菜類の生産が定着し、生産性の高い農業を展開。

【 課 題 】

○京極町は、農業や加工業等から生じる排水、廃棄物の適正処理と再資源化など、環境に配慮した活動が必要。

○倶知安町は、環境保全の視点に立った総合的対策を検討しておくことが課題である。

○共和町は、河川の水質保全と豊かな自然環境を維持するため、地域に適した排水施設の整備を進める。

《環境保全の基本的考え方》

○京極町は、河川等の水質を守る活動を日常生活レベルで実践するとともに、農村景観にあっては「豊かな田園風景＋山・水・山林・空」の自然が送り出す風景を維持、保全していく。

○倶知安町は、自然の生態系への十分な配慮のもと、自然との共生を基本とした“美しい風景のあるまちづくり”を進める。

○共和町は、現在ある環境への影響を最小限にとどめるよう努めるとともに、汚濁水の排出による魚類への影響や動植物の生息環境等への最大限の配慮をし保全に努める。

2. 環境配慮計画

《基本方針》

本事業の実施にあたっては、生息する生物の保全に配慮し、地域環境への配慮を図る。また、河畔林などの自然景観との調和への配慮を行う。

《取組内容》

【 生態系への配慮 】

○河川に生息する魚類や底生動物への影響を軽減するため、工事中は濁水流出防止施設を設置し、濁水流出を防止することで現状の水質を維持する。

○用水路沿いに生育する植物への影響を軽減するため、工事ヤード等は既存林等の現況植生に極力影響が生じない箇所に設置する。

【 景観への配慮 】

○頭首工のゲート改修等においては、地域の農村景観を特徴付ける自然景観との調和に配慮した色彩を検討する。